

平成 18 年 5 月 8 日
農 林 水 産 省

平成 17 年度市販輸入野菜等に関する残留農薬実態調査の 結果の概要について

独立行政法人 農林水産消費技術センターは、「市販輸入野菜等の残留農薬実態調査実施要領（平成 16 年 6 月 22 日付け 16 消安第 2576 号消費・安全政策課長通知）」に基づき、市販の輸入野菜等の残留農薬実態調査を行っています。

第 4 四半期（平成 18 年 1 月 1 日から 3 月 31 日まで）の調査結果を取りまとめましたので報告します。

○問い合わせ先
消費・安全局
消費・安全政策課
担当者：荒牧、瀧沢
電話：03-3502-8111
内線：3074・3075
直通：03-3502-5716

○調査結果（第 4 四半期：平成 18 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日）

1．食品衛生法に定められた残留農薬基準値を超過した農薬の検出状況

市販の輸入野菜等について、88 検体（生鮮野菜 33 検体、冷凍野菜 39 検体、生鮮果実 6 検体、きのこ類 10 検体）を買い上げ検査したところ、食品衛生法に基づく残留農薬基準値を超過した農薬は検出されなかった。

２．食品衛生法に定められた残留農薬基準値以下等の農薬の検出状況

食品衛生法に定められた残留農薬基準等に違反するものではないが、トマト、さやえんどう等の９品目からメタミドホス、クロルピリホス等の１１農薬が検出された。

生鮮野菜（合計：３３検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
アメリカ(1)	たまねぎ	1	検出せず
韓国(5)	トマト(ミニトマトを含む)	2	アゾキシストロビン(1)、ピリダヘン(1)、 フロシドン(1)
	ししとうがらし	3	クレソキシムメチル(2)
中国(15)	にんにく	2	検出せず
	さといも	1	検出せず
	くわい	1	メタミドホス(1)
	やまのいも	3	検出せず
	たけのこ	1	検出せず
	れんこん	7	検出せず
メキシコ(11)	アスパラガス	8	検出せず
	かぼちゃ	3	検出せず
トンガ(1)	かぼちゃ	1	検出せず

冷凍野菜（味付けを含まない）（合計：39検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
中国(26)	さやえんどう	2	トリアジメノール(1)、トリアジメホソ(1)、メ タミドホス(1)
	そらまめ	2	検出せず
	カリフラワー	1	検出せず
	にんじん	4	検出せず
	にんにくの芽	2	検出せず
	馬鈴しょ	3	検出せず
	こまつな	2	クロルピリホス(1)
	れんこん	1	検出せず
	ごぼう	2	検出せず
	ねぎ	2	検出せず
	いちご	1	検出せず
	オクラ	1	検出せず
	さといも	1	検出せず
	ほうれんそう	2	検出せず
台湾(3)	えだまめ	1	検出せず
	ほうれんそう	2	クロルフェナビル(1)
タイ(5)	いんげん	1	クロルピリホス(1)
	オクラ	4	検出せず
チリ(1)	ほうれんそう	1	検出せず
インドネシア(3)	ほうれんそう	3	シペルメトリン(1)
メキシコ(1)	ブロッコリー	1	シペルメトリン(1)

生鮮果実（合計：6 検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
アメリカ(1)	オレンジ	1	メチダチオン(1)
タイ(2)	マンゴー	1	検出せず
	マンゴスチン	1	検出せず
フィリピン(1)	パインアップル	1	検出せず
ニュージーランド(1)	キウイフルーツ	1	検出せず
台湾(1)	バナナ	1	検出せず

きのこ類（合計：10 検体）

原 産 国 (国別検体数合計)	分 析 品 目	検体数	残留農薬基準値以下等の 農薬検出状況 (検出農薬数)
中国(1)	生しいたけ	1	検出せず
韓国(9)	マッシュルーム	9	検出せず

食品衛生法に定められた残留農薬基準値とは、農薬が残留している食品を食べることにより摂取される農薬量を試算し、摂取量が1日摂取許容量（ADI）を超えないように設定されている。

（ADIとは、人がある物質の一定量を一生にわたって摂取し続けても、現時点でのあらゆる知見からみて、認めるべき健康への悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量）

検体数とは買い上げた食品の数である。